



取り付ける前に、この説明書をよくお読みください。理解が不十分であったり、指示に従わないと、取り付ける方や使用者が怪我をする恐れがあります。また保証の対象外になる場合があります。ご質問は、サンライズメディカルジャパン(株) までご連絡ください。  
カスタマーサービス：0480-31-6480

### A. 製品について：

デュアルプロは、「オンボード・プログラミング」による調整可能なプロポーショナル ヘッドアレイです。これにより、ユーザーは車いすの速度や加速度のパラメータをフルに使うことによって車いすを操作することができます。デュアルプロには、近接センサとフォースセンサの技術が搭載されています。従来のスイッチドヘッドアレイでは、ここまでのカスタマイズは不可能でしたが、この技術により、現場でヘッドアレイをカスタマイズすることができるようになりました。設定方法については、弊社ホームページの3方向・4方向プロポーショナルのセットアップガイドをご覧ください：[www.switchit-inc.com](http://www.switchit-inc.com)。



### B. オンボードプログラミング：A

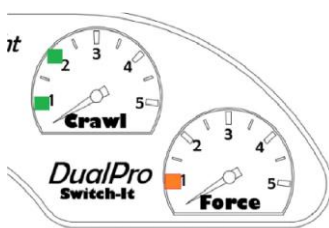
各パッドには、フォース (Force) と近接 (Crawl) の感度設定があり、両方の設定は「オンボードプログラミング」で個別に調整することができます。各パッドの設定は、以下の簡単な手順で行います。

1. 「Set」ボタンと「Force」ボタンを同時に1秒間押します。(図A1)
2. これにより、図 A2 の各パッドに対応するライトに示されるように、設定したいパッドを選択することができます。
3. 「Set」ボタンを押してスクロールして、設定したいパッドを選択します。(図A3)
4. 「Force」ボタンを押すと、「Force (フォース)」を設定できます。Forceで光っているライトの数が多いほど、フルスピードに到達するために必要な力が大きくなることを意味します。これはキーパッドの右側にある一連のライトで表示されます。(図A4)
5. 「Crawl/Prox」ボタンを押すと、近接 (Crawl/Prox) 設定を行うことができます。「Crawl/Prox」で光っているライトの数が多いほど、近接センサの範囲内で速度が上がることを意味します。これは、キーパッドの右側にある一連のライトで示されます。(図A5)

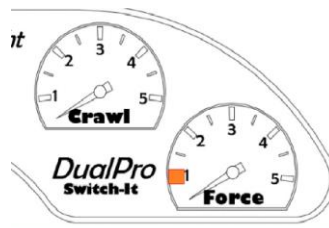


**注意：** 感度が最大に達すると、左側に表示されている最小設定にライトがリセットされたことを示します。感度が最大に達すると、ライトは左側に表示されている最小設定にリセットされたことを示します。両方のスイッチの感度を希望通りに設定したら、パッドのインジケータが点灯しなくなるまでパッドをスクロールしてください。両方のスイッチの感度を希望通りに設定したら、パッドのインジケータが点灯しなくなるまでパッドをスクロールしてください。

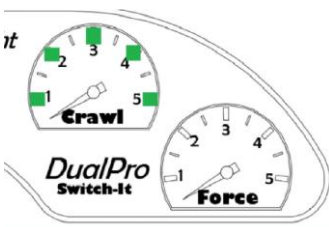
### C. プログラミング・インターフェースの例：



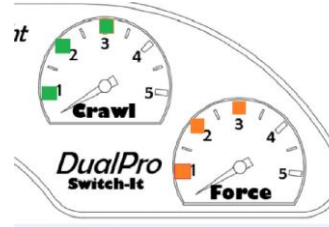
1. 近接 (Crawl) 内は40%の速度、軽い力でフルスピード到達



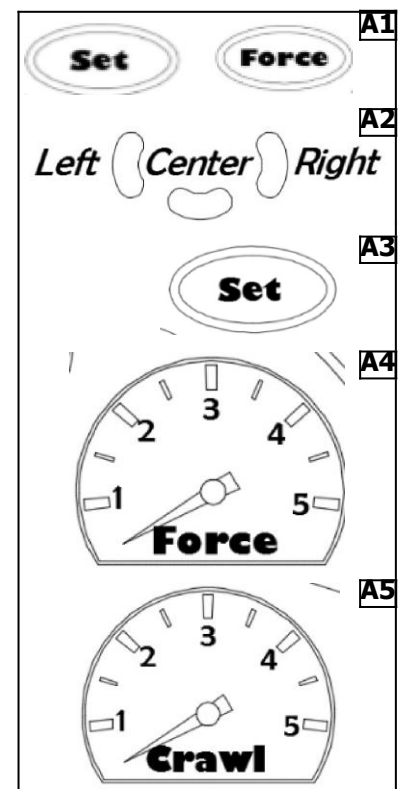
2. パッドに軽い力を加えるとフルスピード、近接 (Crawl) スピードはなし



3. 完全近接型スイッチド ヘッドアレイ



4. 近接 (Crawl) スイッチ内で60%の速度、その後、中程度の力でフルスピードに到達



**D. バックパッド 有効/無効 角度設定機能：** **B**

1. 通常走行時の角度
2. 設定可能な動作解除のバックパッド角度
3. 除圧角度

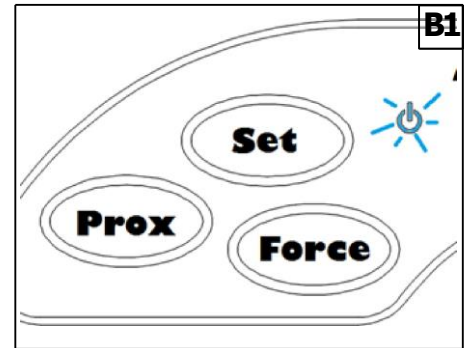
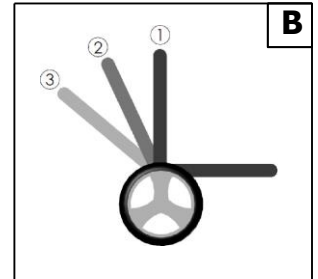
- 設定する角度は、走行角度と除圧角度の間で選択してください。

**1. 動作を解除させるバックパッド角度を設定する：**

- a. バックパッドの動作を解除させたい角度まで車いすの背もたれを傾けてください。
- b. デュアルプロの「Set」ボタンを押しながら、車いすの電源を一旦切つてすぐに入れ直します。
- c. これで、この角度を超えて車いすを後ろに傾けると、バックパッドの動作は無効になります。
- d. バックパッドの動作が解除されている時は、ブルーの電源マークが点滅します。(図B1)

**1. この機能を無効にするには：**

- a. 「Crawl」または「Prox」ボタンを押し続けます。
- b. 押しのまま、車いすの電源を一旦消してまた入れ直します。
- c. これで、この機能は無効化されます。



**E. 詳細な例：**

デュアルプロは、フルスピードに対するパーセンテージを信号で車いすに送ります。例えば、車いすの前進速度が100%で、近接 (Crawl) スイッチが20%に設定されている場合、近接 (Crawl) モードではフルスピードの20%でしか動けないということです。フォースセンサに圧力がかかると、最大速度に達するまでパーセンテージが上昇します。フォースを80%に設定すると、最高速度は車いす設定の80%になります。車いすの最高速度を50%に設定すると、それに応じてパーセンテージが下がりますのでご注意ください。デュアルプロのスイッチを20%に設定すると、最高速度の10%になります。(50%の車いす設定に対して、ヘッドアレイで20%を送ると、最大走行の10%に相当します)

車いすは100%に設定し、パーセンテージはデュアルプロのプロファイル機能で調整することをお勧めします。

**F. デュアルプロの一般的な調整方法：**

1. 片方のパッドに、よく寄りかかる傾向がある、または力が入りやすい方の場合は、該当する側のフォース設定を高くし、反対側のパッドの近接設定を低く、またはフォースをゼロに設定してください。
2. リクライニングを使用している方は、パッドに接触している間に走行機能が作動しないように、バックパッドに必要なフォースを増やし、近接をゼロ (ライトなし) に設定してください。

**G. 外部スイッチオプション：** **C**

デュアルプロは外部スイッチ用の入力を3つ備えています：モード、リバース、割当可能なユーザースイッチパッドの底面に配置されています。

1. スイングアウェイにフレックス スイッチ (図C1)
2. グースネックにピコ スイッチ (図C2)
3. スイングアウェイエッグ スイッチ (図C3)
4. マイクロライト スイッチ (図C4)

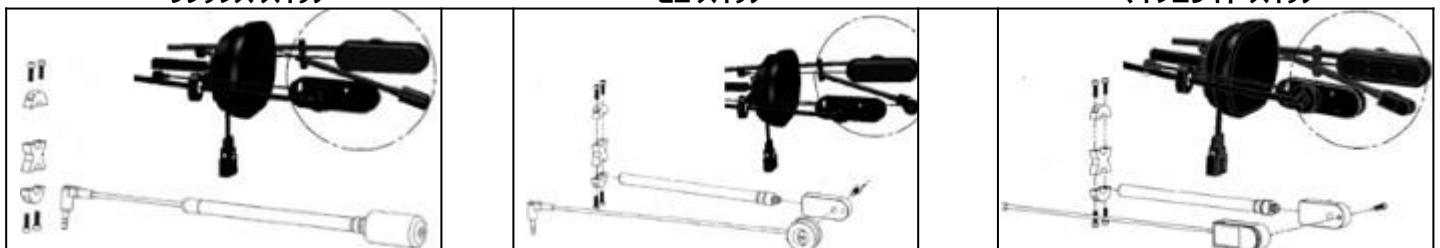


**H. 外部スイッチ取付け：**

フレックス スイッチ

ピコ スイッチ

マイクロライト スイッチ



**I. オンボード スマートジャック :** **D**

パッド裏側の底面に3つのポートがあります。これらのポートは、特許を取得しています。

**スマートジャック テクノロジー :** これらのポートは、機械スイッチ、電子スイッチに対応しています。

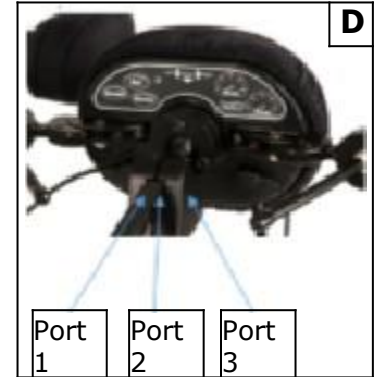
- ポート 1 - リバース (後退)
- ポート 2 - モード
- ポート 3 - オン/オフ スイッチ

**J. 提供しているヘッドパッドスタイル :**

1. シングアウェイ フェイシャル パッド付き 成人用デュアルプロ
2. シングアウェイ フェイシャル パッド付き 小児用デュアルプロ

**K. 互換性 :**

- P7G R-Net : Omni (オムニ) が必要
- Curtis Electronics Enable 50 : エンハンスドディスプレイが必要
- Dynamic Controls DX2 : Switch It DX ドングル (DXD)が必要

**L. シート機能を使用する場合 :****R-Netで可能な設定 :**

- 右のパッドでシート機能をスキャンし、左のパッドで作動させる。
- 左のパッドでシート機能をスキャンし、右のパッドで作動させる。
- 右または左でシート機能をスキャンし、前進/後退で作動させる。
- ティルトまたは除圧ポジションを使用中に、ティルトセンサを使用しバックパッドを解除する。

**Curtisで可能な設定 :**

- 右のパッドでシート機能をスキャンし、左のパッドで作動させる。
- 左のパッドでシート機能をスキャンし、右のパッドで作動させる。
- 右または左でシート機能をスキャンし、前進/後退で作動させる。

**M. Q-Logicエレクトロニクスの基本的な設定方法 :**

1. ヘッドアレイケーブルのDB9プラグをエンハンスドディスプレイのポートに接続します。
  2. 車いすのプログラミングメニューへアクセスします。
  3. Program Adjustments (プログラム調整) までスクロールし選択します。
  4. Specialty Control (特殊コントロール) を選択します。
  5. Specialty Control (特殊コントロール) までスクロールします。
  6. 起動させているデバイスを **3-Direction Proportional** (3方向プロポーション) に設定します。
  7. リバースとモードオプションの設定 :
- 3 direction proportional (3方向プロポーション) フォルダーまでスクロールし選択します。
- a. シングルモード クリックで前進・後退を切り替え、ダブルクリックでモードを起動します :
    - i. **Switch Options** (スイッチ オプション) までスクロールし選択します。
    - ii. **Mode Jack Switch Type** (モード ジャック スイッチ タイプ) を **Toggle** (トグル) に設定します。
    - iii. **Mode Jack Operation** (モード ジャック オペレーション) の設定を **N.O** で確定します。
  - b. バックパッドを使用して、短い起動時間で自動的に前進と後退が切り替わるようにするには (長い起動時間ではドライブとなります) :
    - i. **Back Switch Toggle** (バック スイッチ トグル) と **Select** (選択) までスクロールします。
    - ii. **Switch Toggle** (スイッチ トグル) を Enabled (有効) に設定します。
    - iii. **Mode Jack** (モード ジャック) の設定を **N.O** で確定します。

## N. P&amp;G社製R-Netシリーズエレクトロニクス基本設定説明：

1. この説明では、モードとオン/オフのために、バックパッドに接続されたスイッチをもう1つ使用します。
2. Omni (オムニ) ディスプレイ プログラミングメニューへアクセスします。
3. メインメニューから、**Omni** (オムニ) を選択し、**Port 1** (ポート1) までスクロールし選択します。
4. **SID** をハイライトし、**3Prp** (スリープロポーション) を選択し、メインメニューへ戻ります。
5. リバース (後退) とモードオプションの設定：
  - a. モードスイッチのシングルクリックで前進・後退を切り替え、ダブルクリックでモードを起動します：
    - i. **Port 1** (ポート1) がハイライトされるまで戻り、選択します。
    - ii. **Switches** (スイッチ) をハイライトさせて、選択します。
    - iii. **Double Click Time** (ダブル クリック タイム) をハイライトさせ、希望の時間を設定します。
  - b. バックパッドを使用して、短い起動時間で自動的に前進と後退が切り替わるようにするには (長い起動時間ではドライブとなります)：
    - i. **Port 1** (ポート1) がハイライトされるまで戻り、選択します。
    - ii. **Controls** (コントロール) をハイライトさせて、選択します。
    - iii. **F/R Auto Toggle** (F/R 自動トグル) をハイライトさせ、**ON**に切り替えます。
    - iv. **Auto Toggle Time** (自動トグル時間) をハイライトさせ、希望の時間を設定します。
  - c. リバースとモードに、モードスイッチのミディアム&ロングクリックを使用している場合 (モードスイッチのミディアムクリックで前進・後退、ロングクリックでモード起動)：
    - i. **Port 1** (ポート1) がハイライトされるまで戻り、選択します。
    - ii. **Switches** (スイッチ) をハイライトさせて、選択します。
    - iii. **Switch Medium** (スイッチ ミディアム) をハイライトさせ、**Double** (ダブル) に「+」「-」キーで希望の時間帯に設定します。(このオプションが好ましくない場合は0に設定し、controls (コントロール) の下の **F/R Auto toggle** (F/R 自動トグル) は**Off** に設定する必要があります)
    - iv. **Switch Long** (スイッチ ロング) をハイライトさせ、**Double Click Time** (ダブル クリック タイム) に希望の時間を設定します。(必ずミディアムの設定より長く設定してください。)

**警告**

- ヘッドレイのセンサ位置周辺では、携帯用通信機器の使用に注意が必要です。車いすの挙動がおかしいときは、すぐに車いすの電源を切り、販売店にご連絡ください。
- 自動車内や使用者が移乗している際は、車いすの電源を切ってください。
- バックパッドのスイッチやセンサを抜き差しするときは、車いすの電源がオフになっていることを確認してください。
- 電線の下、携帯電話の周辺での使用は避けてください。
- 保証期間：製造年月日より1年

詳しくはこちら：

